

## 文化学園所蔵のピエール・カルダン関連資料群の紹介

### Resources Pertaining to Pierre Cardin Available at Bunka Gakuen

近藤 尚子\* 田中 直人\*\* 中村 弥生\*\*\* 関口 光子\*\*\*\*

Takako Kondo, Naoto Tanaka, Yayoi Nakamura, Mitsuko Sekiguchi

#### 要旨

本資料紹介では、本学所蔵のピエール・カルダン関連資料群について扱う。文化ファッション研究機構では、学内機関で所蔵されているが、リソースとして整理・公開されていない服飾関連資料の調査・デジタルアーカイブ化を進めてきた。そのなかで、2023年に創立100周年を迎える本学には、国内外のデザイナーに関して、実物服飾資料やその研究成果のみならず、交流記録も残されていることが判明した。文化服装学院の名誉教授であるピエール・カルダン氏は、1958～2010年の間に計10回も来校しファッションショーも開催した、本学と特に関係の深いデザイナーの1人である。そのため、所蔵している資料は実物服飾資料、紙資料、画像、映像と多種多様であり、現時点で確認された資料数は1,055件にも上る。またこれら資料の多様性は、これまで資料所蔵機関として認知されていた教育部門、附属機関に加え、事務部門とも連携し調査を行えた結果でもある。このような部門を超えた連携は、研究の多様化や分野を超えた共同研究が進むなかで重要な意義を持つものであると考え、ファッション分野におけるオーソドックスな研究対象である実物服飾資料のみならず、その他の資料情報も併せて紹介する。

●キーワード：ピエール・カルダン (Pierre Cardin) / アーカイブ (archives) / 研究資源 (research resources)

#### I. はじめに

文化ファッション研究機構（以下、BFRI）では、服飾文化共同研究拠点<sup>1)</sup>として、資料収集および情報公開、分野横断的な共同研究推進、研究者コミュニティ形成等の活動を行ってきた。また、2015～2017年度には文化庁委託事業である「アーカイブ中核拠点形成モデル事業」で全国に散在する服飾資料を共同利用するためのネットワーク構築や資料情報の相互利用環境の検討・整備を行ってきた。それらの活動を通して、大学や博物館を超えた連携以前の問題として、学内機関内（事務部門、教育部門、附属機関等）であっても連携があまりなされていないこと、大学研究室内で継承されてきた教材はリソースとして整理・公開されがたいことが分かった<sup>2)</sup>。そこで2018年より学内機関で所蔵されているが、リソースとして整理・公開されていない服飾関連資料を調査し、整理・デジタルデータ化を進めてきた<sup>3)</sup>。そして、今年度より学内限定公開でそれらデータを閲覧・使用できるサイトを立ち上げた。

これら未整理・未公開資料の調査をする過程で、2022年に生誕100周年を迎えるピエール・カルダン氏（以下、

カルダン）に関する資料を5つの学内機関で所蔵していることが判明した。カルダンは文化学園と深い関わりのあるデザイナーの1人で、1958年に学園講堂で作品ショーを開催したのを皮切りに、1961、1966、1973、1975、1977、1990、1993、2000、2010年の計10回来校し、ショーの開催や学園のイベントに参加している。また、文化服装学院の名誉教授となった1961年には、学内機関である文化出版局が発行していた雑誌『ハイファッション』上で1961～1999年の38年間、デザインコンテストを開催していた<sup>4)</sup>。このようなカルダンと文化学園との長年の交流による貴重な資料群を紹介する。

#### II. ピエール・カルダン (Pierre Cardin)

カルダンは1922年にイタリアで生まれたフランスのデザイナーである。1945年にパキヤン、その後スキヤパレリのメゾンで勤務。同時期にジャン・コクトーの映画『美女と野獣』の衣装や仮面のデザインを担当。翌1946年にはクリスチャン・ディオールの独立に際し、その傘下に加わり、「ニユーロック」発表時はアトリエ主任であった。1950年に自身のメゾン「Pierre Cardin」を開設し劇場

用の衣装や仮面のデザインから始め、1953年には初の婦人服のオートクチュール・コレクションを発表した。1958年の初来日時に立体裁断を紹介したのちもプレタポルテ（既製服）の発売、世界初のメンズコレクション発表、中国やロシア（当時はソ連）でのファッションショー開催、国籍や肌の色に関係なくモデルを起用、ライセンス契約を導入する等、現在のファッション界につながる道を開拓してきたデザイナーである<sup>5)</sup>。

### Ⅲ. カルダン関連資料群

現時点で判明したカルダン関連資料を所蔵している学内機関は、文化学園図書館（以下、図書館）、文化学園服飾博物館（以下、博物館）、文化学園ファッションリソースセンター（以下、リソース）、文化学園大学短期大学部（以下、短大部）、秘書室・総務課の5機関である。各機関が所蔵している資料について表1に示す。この内、「Pierre Cardin」の服45点と装身具18点の計63点を推定製作年代順に表2-1、2-2に示す。これら実物服飾資料はプレタポルテの他に、ファッションショーで使用されたもの、寄贈を受けたフランス製オーダーメイドのもの

の含まれる。以下、機関ごとに所蔵資料を紹介する。

#### I) 図書館

図書館では国内外のデザイナーに関する書籍、ファッション雑誌を長年収集しており、蔵書数は約34万冊、雑誌はバックナンバーも含めて約3,500タイトルある。カルダンに関しては、OPAC蔵書検索で版違い含む24件、文化学園リポジトリでは全文検索で9件がヒットする。その他に、館内リファレンスサービスとして、十数年前まで司書が雑誌記事索引をアナログで作成しており、カルダンに関する索引は1958～2000年に発行された各種雑誌から54件抽出されている。現在は、各種データベースを使用し、その検索結果から館内蔵書を見つけることができるようになっている。

また、カルダン・ハイファッション賞受賞作品の実物はリソースで17名分所蔵されているが、図書館では雑誌『ハイファッション』の所蔵だけではなく、受賞作品や受賞者に関する記事を抜粋したファイルも作成している。

#### II) 博物館

博物館は日本で数少ない服飾専門の博物館であり、7～20世紀の世界各国の服飾資料を約15,000点（日本約

表1 文化学園所蔵カルダン関連資料数\*

資料種類			所蔵先	図書館	博物館	リソース		短大部	秘書室 総務課	計
						コスチューム 資料室	映像資料室			
実物 服飾 資料	「Pierre Cardin」	服		11	28		6		82	
		バッグ		1	1					
		靴		1	1					
		帽子			13					
		ネクタイ			1					
	研究成果（コピー作品等）				2		1			
	カルダン・ハイファッション賞受賞作品**				16					
紙資料	書籍（版違い含む）		24						76	
	紀要など（文化学園リポジトリ）		9							
	デザイン画	カルダン・ハイファッション 賞受賞作品**			17					
	研究成果（作図）等						1			
	直筆（手紙等）資料							3		
	招待状・入場券等							2		
	新聞・雑誌の切り抜き等							20		
画像	パリ・ コレクション	ウィメンズ				442			885	
		メンズ				43				
	来校／ショー／交流時の写真等							400		
映像	カルダンを特集した番組等					6			12	
	カルダンがデザインした衣裳を見られる映画					6				
計			33	13	79	497	8	425	1,055	

\*2020年11月時点で確認できた数

\*\*カルダン・ハイファッション賞受賞作品は実物服飾資料とデザイン画がセットで所蔵されているが、17名の内1名だけ実物服飾資料がなかった。

4,600点、ヨーロッパ約3,600点、アジア・アフリカ・その他地域約6,800点）所蔵している。「Pierre Cardin」に関しては、1960～1980年代の服11点、バッグと靴を各1点の計13点所蔵している。

### Ⅲ) リソース

リソースはコスチューム資料室、テキスタイル資料室、映像資料室、企画室を有しており、カルダンに限らず国内外のデザイナー作品から学生作品や布地サンプルまで多種多様な資料を所蔵している。カルダン関連資料は、1969～2005年の「Pierre Cardin」の服28点と装身具（靴、バッグ、帽子、ネクタイ）16点、コピー作品2点、前述したカルダン・ハイファッション賞受賞作品17名分、計63点をコスチューム資料室で、「Pierre Cardin」パリ・コレクションの画像をウィメンズ442枚<sup>6)</sup>、メンズ43枚<sup>7)</sup>の計485枚、カルダンを特集した番組等を6本、カルダンがデザインした衣裳を用いた映画6本を映像資料室で所蔵している。映像資料室の画像・映像は、映像資料室内で閲覧・視聴できる。

### Ⅳ) 短大部

短大部では、1978～1992年の「Pierre Cardin」オートクチュール作品（モデル着用写真付き）6点とそれに関する資料<sup>8)</sup>を所蔵している。デザイン・パターン・縫製方法の研究を目的に国内外のデザイナー作品を購入しており、一部の作品は学内で広く利用されるよう、リソースに寄贈されている。

### Ⅴ) 秘書室・総務課

秘書室では、文化学園とカルダンの交流録として、来校時やパリでの交流記録写真等400枚所蔵している。写真は、学外業者や総務課が撮影したもので、それらが秘書室にて管理されているとのことであった。写真の他に、手紙等の直筆資料3点、招待状・入場券等2点、カルダンに関する記事が掲載されている新聞・雑誌の切り抜き20点を所蔵している。

## Ⅳ. おわりに

本報告では、調査対象とした資料を「ピエール・カルダン関連資料群」と呼ぶこととした。これは、本報告の意図が、ファッション分野におけるオーソドックスな研究対象である実物服飾資料のみならず、その関連資料も併せて収集することにあったためである。また、本学ではこのような資料群をカルダンのみならず他の国内外のデザイナーについても多数所蔵している。

資料情報の整理・公開は、当然ながら所蔵機関にとっ

て優先順位の高いものから行われるが、そこで順位が低いとみなされ、その結果、未整理・未公開のままとなっていたもののなかにも、これを別視点から捉える研究者にとっては貴重な資料たり得るものが数多くある。こうした経験から、本調査では資料価値を調査者が独断しないことを念頭に、様々な可能性を考慮しつつ幅広く聞き取り調査を行った。これは、従来顧慮しなかった資料に関する記憶の呼び起こしを求める調査であり、協力いただいた機関にとっては少なからざる手間を強いられる調査であったと思われる。この場を借りて、改めて感謝を上げたい。

現時点で収集できた資料情報は1,055件であるが、今回収集した資料情報を呼び水として、今後も新たな情報が得られることを期待している。なお、本調査においてはこれまで資料所蔵機関として認知されていた教育部門、附属機関に加え、事務部門とも連携し調査を行えたことが大きな収穫であったといえる。本学園が綴った歴史の多くの場面に学園本部、とりわけ秘書室・総務課が立ち会っており、今後も写真、書簡等を中心として、貴重な資料が見つかる可能性がある。引き続き、調査に注力してゆきたい。

### 註

- 1) BFRIとは、2008年度に文部科学省より「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業」に採択され、「服飾文化共同研究拠点」として設立された研究拠点である。
- 2) 近藤尚子，田中直人，中村弥生，小出恵，関口光子：文化学園大学短期大学部所蔵被服構成学実習教材について，文化学園大学・文化学園大学短期大学部紀要，51，pp.136-139（2020）
- 3) 近藤尚子，田中直人，中村弥生，関口光子：学園内所蔵資料の研究利用促進に向けた初歩的検討と試行—デジタルアーカイブ化を意識した未整理資料調査と概報作成—，文化学園大学・文化学園大学短期大学部紀要，50，pp.119-124（2019）
- 4) このデザインコンテストの受賞者には、カルダン氏直筆サイン入り賞状、賞金、さらに副賞としてバリ往復航空券が送られることもあった。
- 5) ピエール・カルダンジャパン，ピエール・カルダン：Pierre Cardin Le temps et la mode 時代とモード，ピエール・カルダンジャパン（2002）
- 6) 詳細は、1951年オートクチュール春夏～1999年プレタポルテ秋冬の画像。この内、1952，1954，1956，1995，1996年の画像はない。また、プレタポルテに変わったのは、1972年秋冬コレクションからである。
- 7) 詳細は、1989年プレタポルテ秋冬～1999年のコレクションの画像。この内、1990，1994～1997年の画像はない。
- 8) 短大部で購入した実物服飾資料は全てラプオフ（でき上がっている服をパターンにトレースする方法）して型出したものを作図に起こしている。これらの研究成果は、高度な学修を行う課程として設置された研究生や専攻科の授業、学外の人も参加できる講習会等で教材として活用された。


表2-1 文化学園所蔵「Pierre Cardin」実物服飾資料（1968-1981）

西暦（年）	推定製作年代に幅がある資料					
1968						
	④ドレス	④ドレス	④ジャンプスーツ 1968年頃	④ブーツ 1968年頃		
1969						
	④ドレス	④ジャケット				④ドレス 1960年代末
1970						
	④ドレス					
1972						
	④ドレス	④コート				④ドレス 1970年代前半
1978						
	④ウェディングドレス	④ドレス	④ウェディングドレス			
1979						
	④スーツ 1979?	④スーツ 1979?	④帽子	④帽子 1979?		
1980						
	④スーツ	④イブニングアンサンブル	④カクテルドレス	④帽子	④帽子 1980-1981	④イブニングドレス 1980年以前
1981						
	④ドレス	④コート	④カクテルドレス	④カクテルドレス	④カクテルドレス	
						
	④カクテルドレス	④カクテルドレス	④カクテルドレス	④コート	④帽子	④帽子
						④イブニングドレス 1980年代初め

④：文化学園服飾博物館所蔵、④：文化学園ファッションリソースセンター所蔵、④：文化学園大学短期大学部所蔵



表2-2 文化学園所蔵「Pierre Cardin」実物服飾資料（1982-2005）

西暦（年）	推定製作年代に幅がある資料	
1982	 ⑧ドレス	 ⑩ドレス
1983	 ⑩イブニングドレス	 ⑨イブニングドレス 1980年代
1984	 ⑧イブニングドレス	 ⑧イブニングドレス
1989	 ⑧水着(パンツ)	 ⑧ジャンプスーツ 1986年以前
1991	 ⑩ウェディングドレス	 ⑧バッグ 1986年以前
1992	 ⑩ドレス	 ⑧帽子 1986年以前
2005	 ⑧ネクタイ	 ⑧帽子 1986年以前
		 ⑧帽子 1986年以前
		 ⑧帽子 1986年以前
		 ⑧帽子 1986年以前
		 ⑧帽子 1986年以前
		 ⑧帽子 1986年以前
		 ⑧コート 1990年以前
		 ⑧タキシード 1992年以前
		 ⑧コート 1992年以前
		 ⑧ドレス 1992年以前

⑨：文化学園服飾博物館所蔵、⑧：文化学園ファッションリソースセンター所蔵、⑩：文化学園大学短期大学部所蔵

## 謝辞

資料情報、資料画像をご提供いただいた、文化学園図書館、文化服飾博物館、文化学園ファッションリソースセンター、文化学園大学短期大学部、秘書室・総務課に御礼申し上げます。